

MEMBER OF
Dow Jones
Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM



FTSE4Good

2017年度 第2四半期 決算説明会

Marubeni

(証券コード8002)

2017年 11月7日

◆ 2017年度 第2四半期 連結決算の概要

- 実態純利益
- キャッシュ・フロー
- ネットDEレシオ

◆ セグメント別 実績・見通し

※ 当資料では、「親会社の所有者に帰属する当期利益」を「純利益」と表記しております。
計数については、2012年度まで米国会計基準ベース、2013年度以降はIFRSベースで記載しております。

◆ 2017年度 第2四半期 連結決算の概要

	2016年度 第2四半期 累計	2017年度 第2四半期 累計	増減	2017年度 見通し (2017年5月公表)	2017年度 見通し (2017年11月公表)	増減
純利益	805億円	1,046億円 (進捗率62%)	+241億円 (+30%)	1,700億円	1,700億円	-
配当後 フリーキャッシュ・フロー	+6億円	△773億円	△779億円	+1,000億円	+1,000億円	-
	2016年度末	2017年度 第2四半期末	増減	2017年度 見通し (2017年5月公表)	2017年度 見通し (2017年11月公表)	増減
ネットDEレシオ	1.20倍	1.18倍	0.02ポイント 改善	1.1倍程度	1.1倍程度	-

< 第2四半期決算の概要 >

純利益は1,046億円。前年同期比+241億円(+30%)の増益。

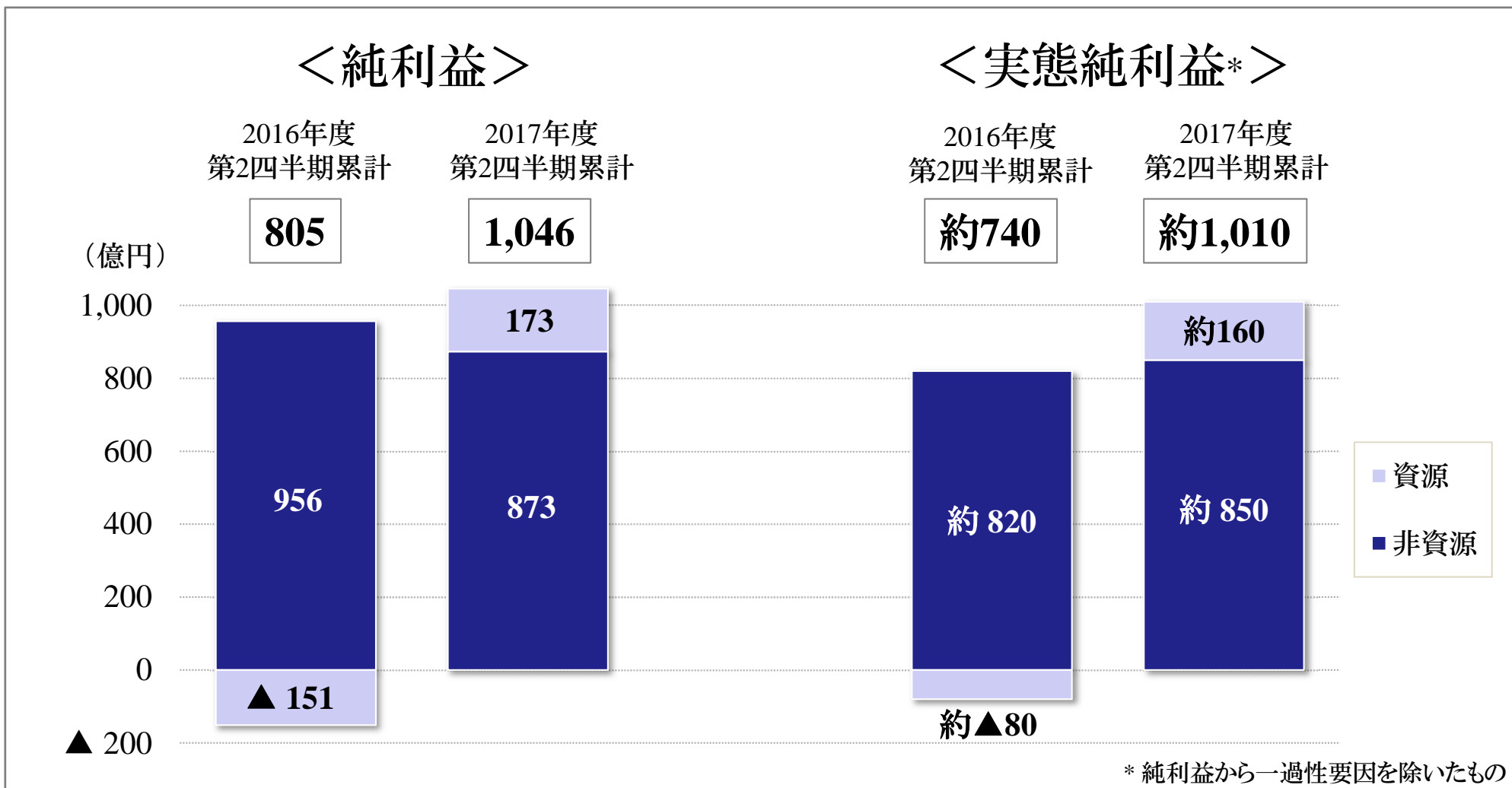
- 銅価格、石炭価格の上昇を背景に資源投資が増益を牽引。豪州ロイヒル鉄鉱山は足許でフル生産体制を確立。
- 非資源分野は、一過性要因を除く純利益が増益。輸送機や紙パルプが堅調に推移。

配当後フリーキャッシュ・フローは△773億円、ネットDEレシオは前年度末比で0.02ポイント改善し、1.18倍。

- 季節性の営業運転資金の増加によりキャッシュ・フローは赤字となったものの、下半期における営業・投資キャッシュ・フローの回収により、年度末ターゲットは達成する見通し。

< 通期業績見通しの概要 >

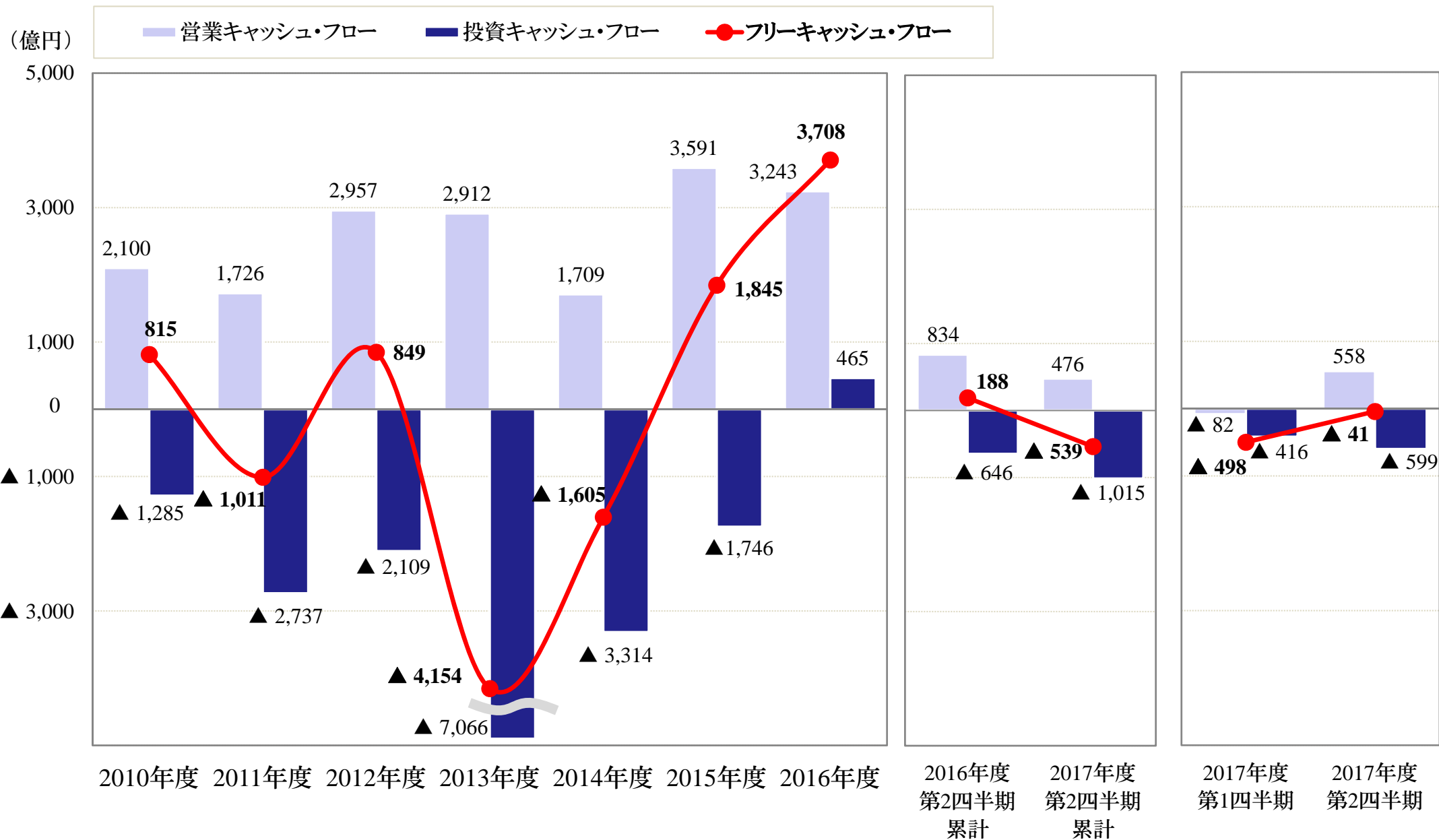
期初公表の業績見通し並びに配当予想(年間:25円/株)は変更なし。見通し達成に向けて順調に進捗。



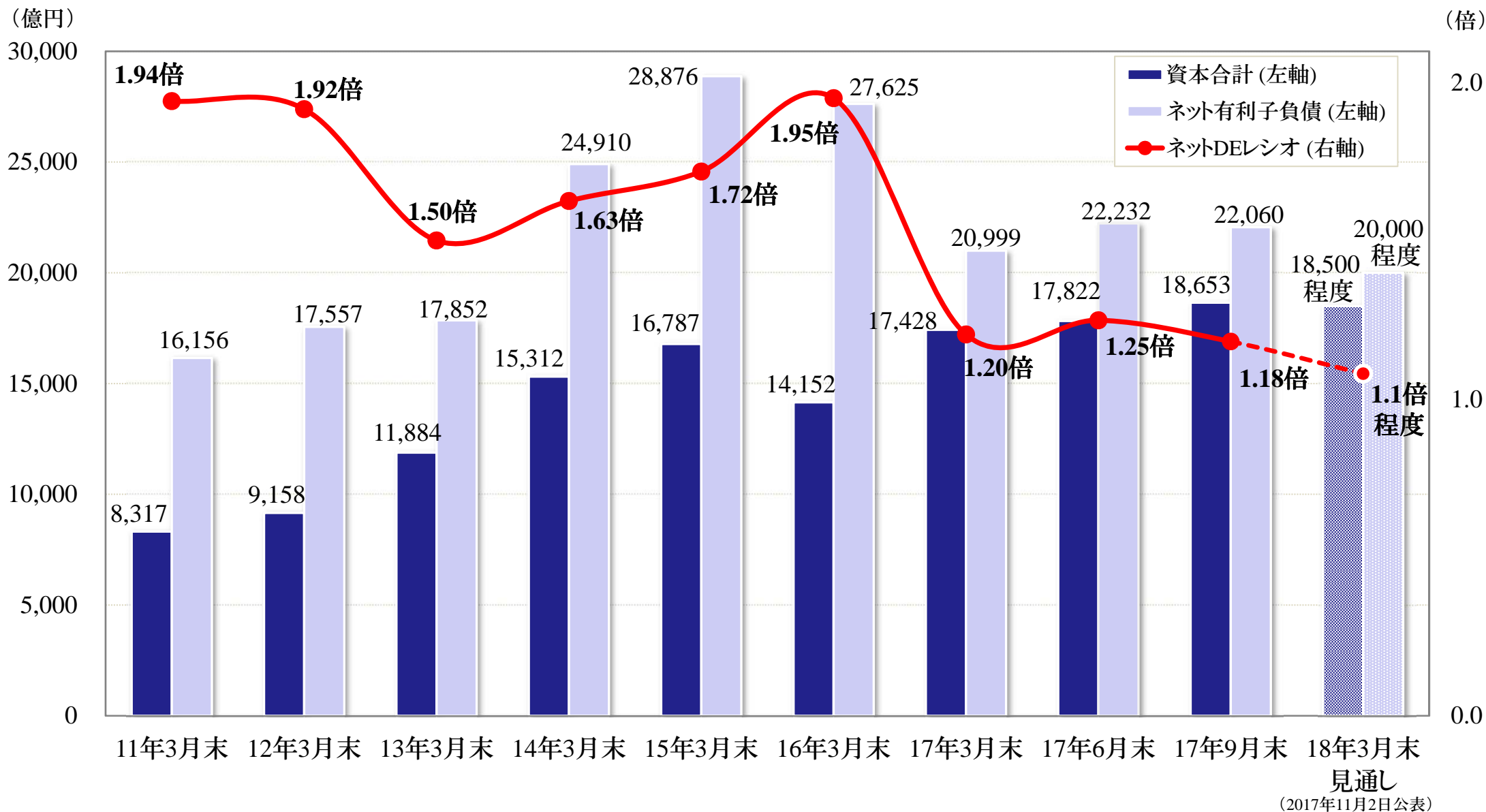
(参考)一過性要因

	2016年度 第2四半期累計	2017年度 第2四半期累計
	約+70	約+30
(内訳)	非資源 : 約+140	(内訳) 非資源 : 約+20
	資源 : 約▲70	資源 : 約+10

キャッシュ・フロー



ネットDELレシオ



SG-12

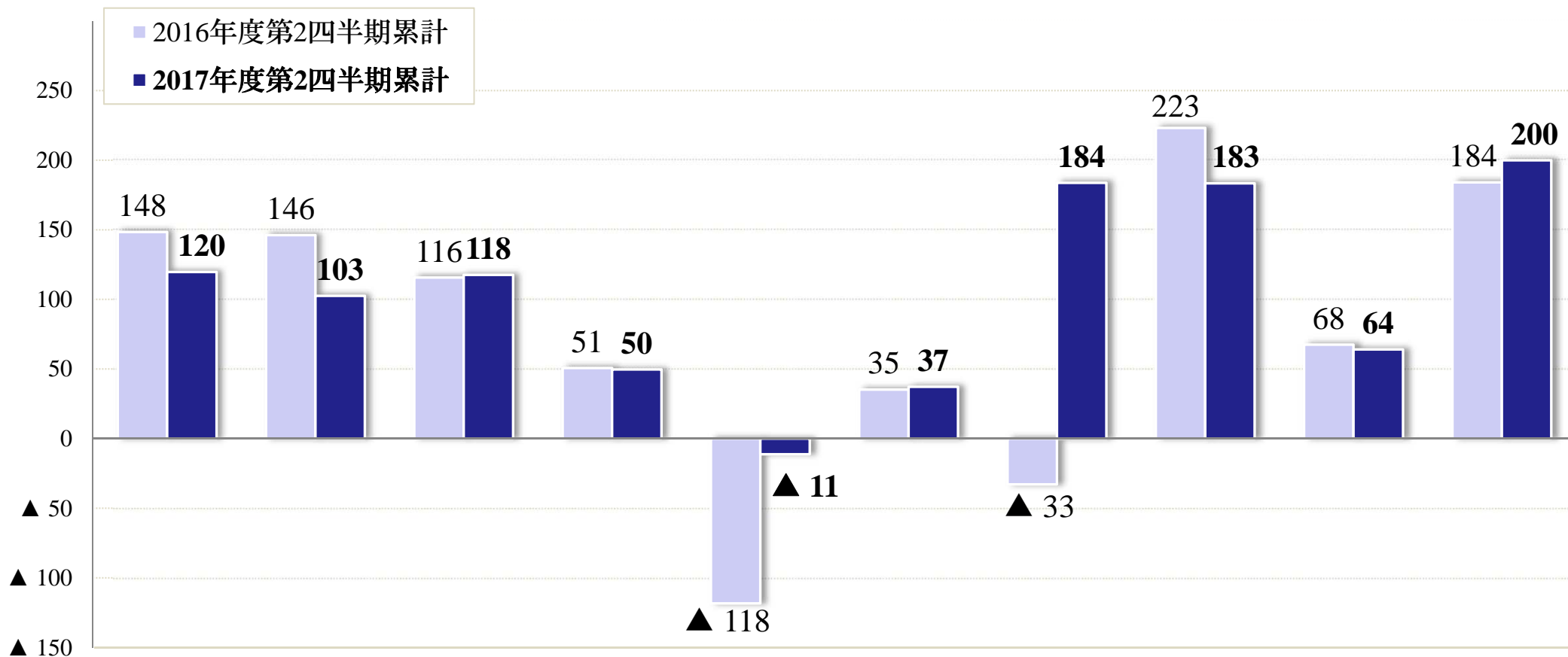
GC2015

GC2018

◆ セグメント別 実績・見通し

サブセグメント別 純利益

(億円)



2017年度
修正見通し
(2017年11月2日公表)

2017年度
期初見通し
(2017年5月9日公表)

290	280	190	120	▲20	80	300	410	115	330
310	260	220	130	▲70	80	290	400	115	290
食料 (穀物, 食品)	ライフスタイル, 情報・物流・ヘルスケア, 保険・金融・不動産	農業化学品	化学品, 紙ハルブ	エネルギー	鉄鋼製品事業	金属資源	電力	プラント	航空・船舶, 自動車・リース事業, 建機・産機
生活産業	素材	エネルギー・金属		電力・プラント	輸送機				

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従い、本資料は、記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。